

■和氣清麻呂 公卿。〈宇佐八幡神託〉によって僧道鏡の即位を阻み、桓武天皇側近として、平安京遷都建言し実現させた。

わけのきよまる

風土記完了・ 733＝ 備前国藤野郡に生まれる。3つ上に姉広虫がいた。

藤原四卿没・ 737＝ 4歳：

藤原広嗣の乱 740＝ 7歳：

堀田永世法・ 742＝ 9歳：

・・・・・・ 744＝ 11歳：姉広虫が葛木戸主に嫁ぐ。葛木戸主は天皇の覚えめでたく、以後出世を重ねる。

懐風藻・・・・ 751＝18歳：

大仏開眼・・・・ 752＝19歳：

孝謙(称徳)天皇に近侍していた姉広虫の引きによって、おそらく兵衛として出仕したものと思われる。

聖武天皇没・ 756＝23歳：

光明皇后没・ 760＝27歳：

新羅征討計画 762＝29歳：孝謙上皇の出家に伴い、姉広虫も尼となって、その腹心となる。

恵美押勝の乱 764＝31歳：

西大寺・・・・ 765＝32歳：従六位上，右兵衛少尉，広虫とともに称徳天皇に重用された。

宇佐八幡神託 769＝36歳：*やがて皇位を望んだ僧道鏡の事件に際し、姉に代わって宇佐八幡に使い、神託をうけてこれを阻止した〈宇佐八幡宮神託事件〉。そのため一時別部磯麻呂と名をかえられ、大隅国に流された(広虫も還俗させられ、備後に流された)が、

称徳天皇没・ 770＝37歳：*光仁天皇の即位とともに京に召されて、姉とともに本位に復し、

東大寺完成・ 771＝38歳：姉とともに和気宿禰を賜り、

蝦夷反乱始・ 774＝41歳：姉とともに和気朝臣を賜る。

・・・・・・ 778＝45歳：

蝦夷大反乱・ 780＝47歳：神願寺の建立を願い、

桓武天皇即位 781＝48歳：桓武天皇の即位とともに許され、以降、側近として活躍した。

782＝49歳：再び、神願寺の建立を願って許され、まもなく建立したと考えられる。

・・・・・・ 783＝50歳：摂津大夫、

長岡京造営始 784＝51歳：長岡京造営には陰の役割をはたし、従四位下より正四位下に昇叙し、

長岡京中断・ 786＝53歳：摂津大夫として、駅子調を免ずることを願い出、許される。民部大輔を兼ねる。

・・・・・・ 787＝54歳：

蝦夷征伐始・ 788＝55歳：さらに、中宮大夫も兼ねる。摂津大夫として水利事業を進める。また、美作・備前両国国造にも任せられ、故郷の百姓の利益にも力をつくした。民部大輔として“民部省例”を撰するなどして、民政に貢献した。

その後の長岡遷都がうまくいかなかったため、密奏して平安遷都を願う。

平安京築造始 793＝60歳：平安京造営には造宮大夫として事業をにない、

平安京遷都・ 794＝61歳：*実現とともに、従三位に叙せられ、公卿に列した。

遷都にともない、高尾山寺(神護寺)建立を願って許され、後、最澄・空海が活躍する場になる。

・・・・・・ 796＝63歳：

・・・・・・ 799＝66歳：*姉広虫の死去直後、民部卿・造営大夫・従三位で、没した。正三位を贈られた。